

資料1 施設概要

令和10年10月、新しい県立体育館が開館します！

スポーツ利用者だけでなく、誰もがふらっと立ち寄りたくなる、いつでも賑わいのあるスペースが誕生

所在地 八橋運動公園
敷地面積 36,831.48㎡
構造・規模 鉄骨造・4階建て
面積
建築面積 9,392.87㎡
延床面積 18,312.93㎡
観客席数 メインアリーナ約6,000席
サブアリーナ 約200席

その他の施設
駐車場、ロータリー、緑地、
遊具等の外構など

設計 環境デザイン研究所・清水建設・村田弘建築設計事務所設計共同企業体
施工 清水建設・中田建設・長谷駒組特定建設工事共同企業体



鳥瞰（南から）



外観（南西から）



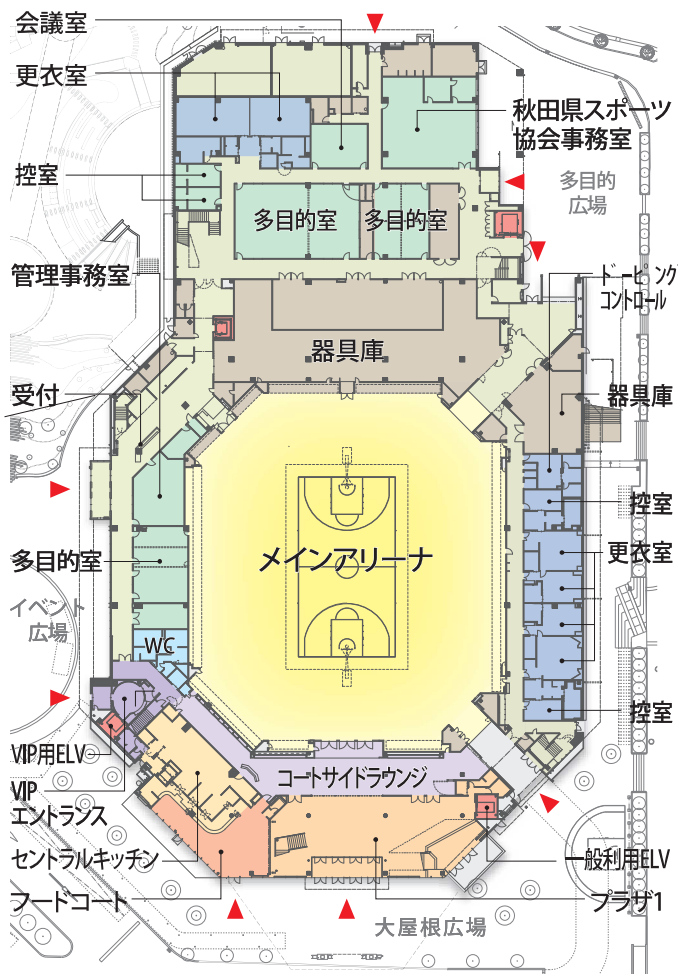
鳥瞰（南西から）



外観（南東歩道から）

各階平面図

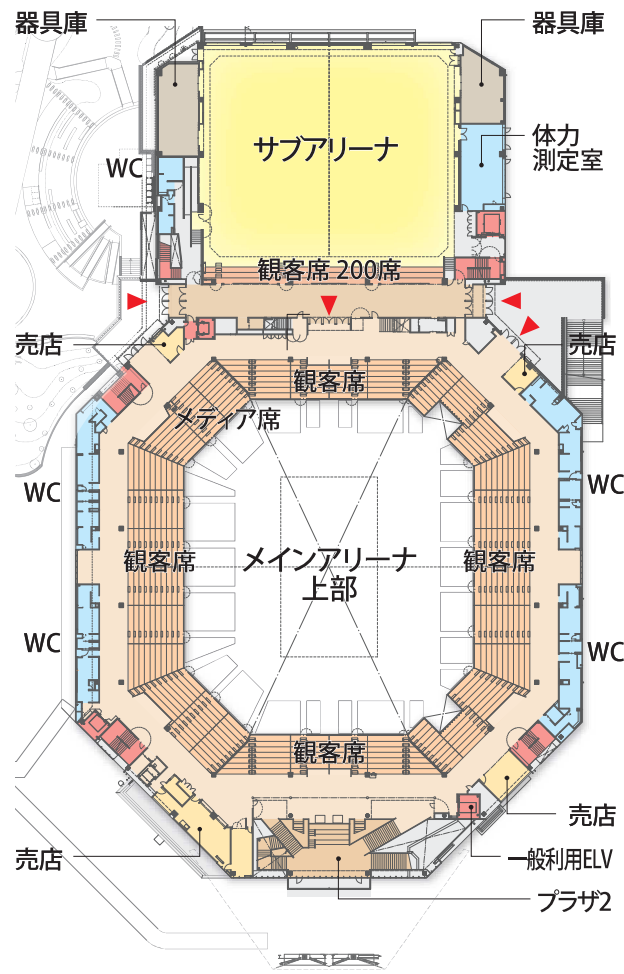
利便性と安全性が高く、日常でも競技大会でも利用・運営しやすいレイアウト



1F

特徴 1

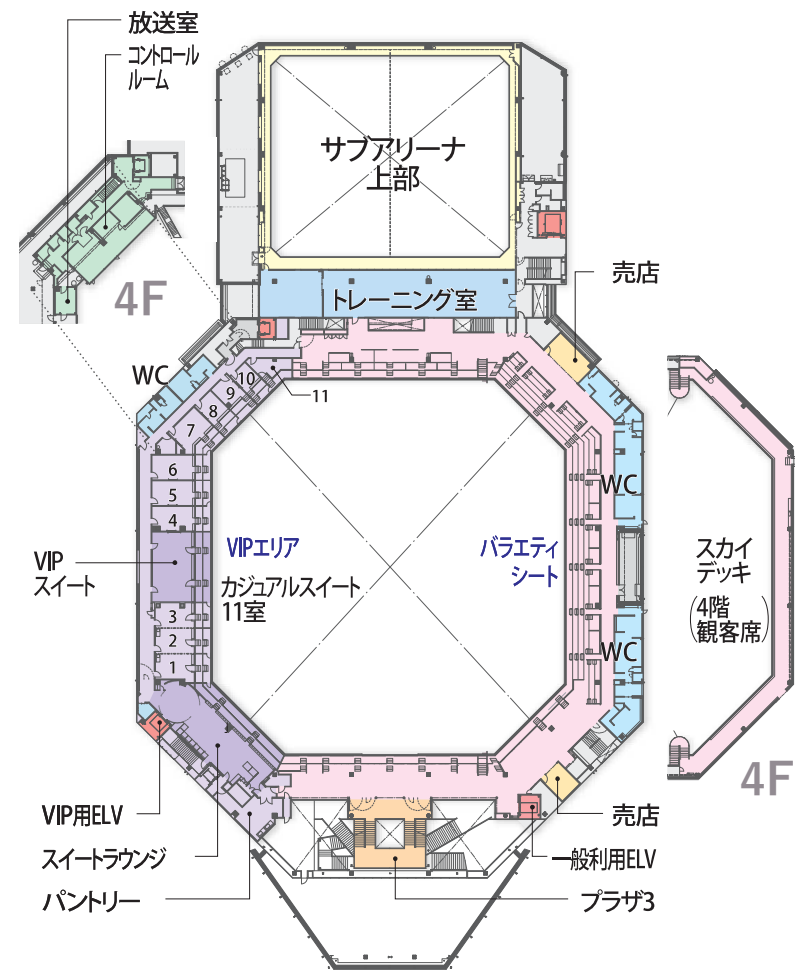
- ・ 分かりやすく安全性の高い観客動線を実現。メインアリーナでは、見通しの良い環状の動線により、迷うことなくスムーズかつ安全に、自分の席や目的の場所に辿り着くことができます。



2F

特徴 2

- ・ 「する(選手・利用者)」「みる(観客)」「ささえる(スポーツ医科学)」それぞれの目的に合わせた使い分けが可能な複数のエントランスがあり、来場者の利便性とセキュリティの確保を両立しています。



3F

特徴 3

- ・ あそび空間の研究によって育まれた遊環構造を応用し、様々な遊具やコミュニティ空間をギャラリー回廊(コンコース)で繋ぐ循環動線を設け、館内をグルグルめぐる楽しさのある体育館と広場を実現します。

メインアリーナ・サブアリーナ

非日常感と高い没入感をもたらす観戦体験を提供するメインアリーナと気軽に利用できるサブアリーナ

メインアリーナ

- ・客席がコートに近く、周りを取り囲む、非日常的でエキサイティングな観戦環境を実現します。
- ・センタービジョン等の映像・音響機器により、ダイナミックな演出を行います。

サブアリーナ

- ・更衣室などを併設する
日常利用に便利な体育施設です。
- ・大型エレベータを設置し、
パラアスリートや幅広い世代にも
ストレスなく利用いただけます。

主な対応競技

バスケットボール
バレーボール
バドミントン
卓球
体操・新体操
フェンシング
レスリング
ウエイトリフティング
等



メインアリーナ（一般利用）



メインアリーナ（プロスポーツ）



メインアリーナ（ライブイベント）



サブアリーナ（一般利用）

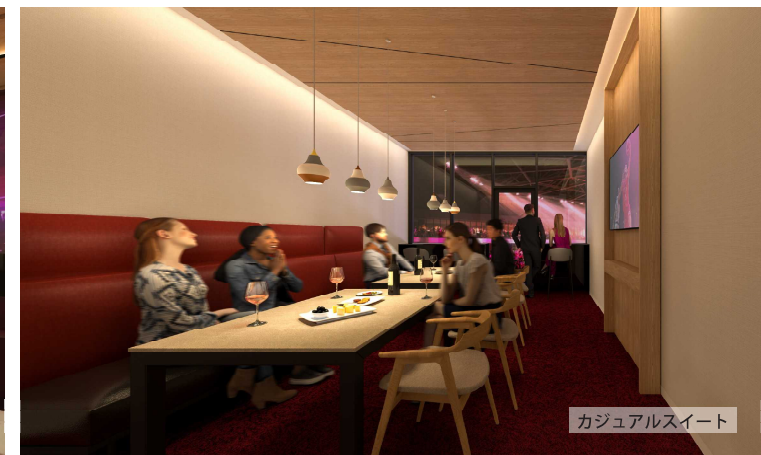
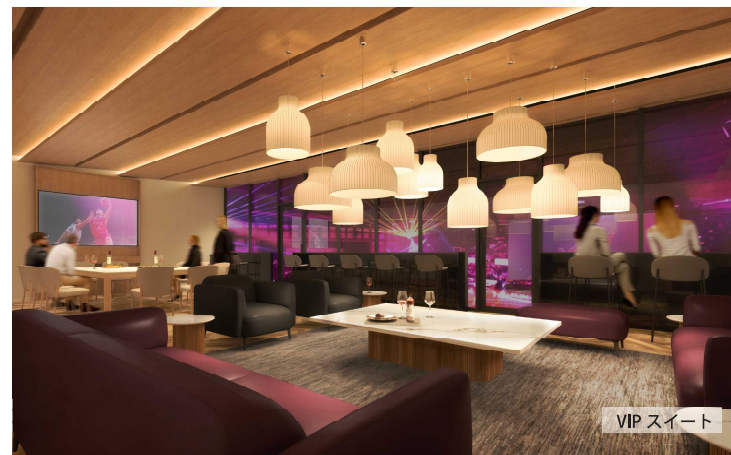
新しい県立体育館を取り巻く環境

周囲の丘とアリーナ（新県立体育館）が一体となって八橋運動公園と周辺地域に元気と賑わいを創出します！

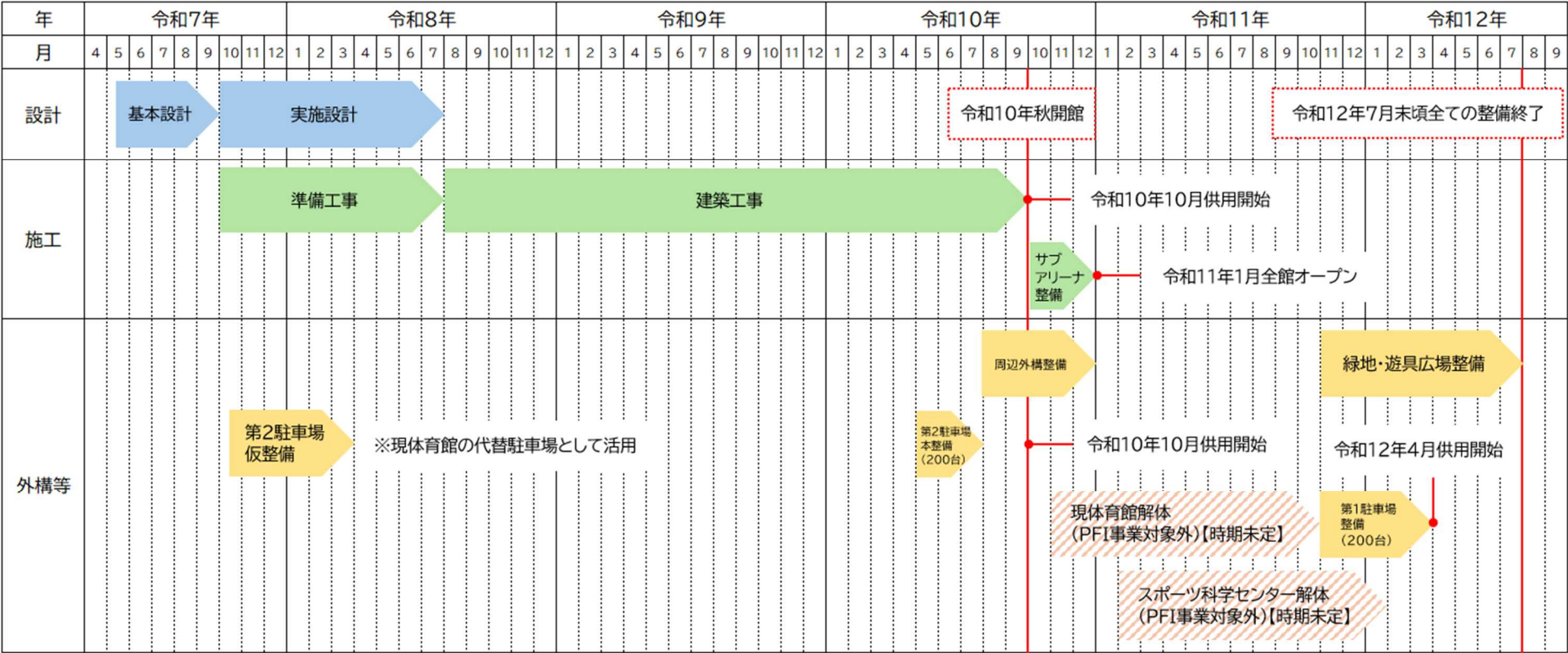


その他の施設・内観

アスリートだけでなく子どもから高齢者まで多様な利用ニーズに対応し、誰もが利用しやすい施設です。



新秋田県立体育館 整備スケジュール



※施工計画の詳細については、秋田アリーナ PFI パートナース株式会社の HP を御覧ください。
(<https://www.shimz.co.jp/construction/ShinAkitaKenritsuTaiikukan/sekou.html>)